インタッチ／システム プラットフォーム 2014

InTouch/System Platform 2014

これからの HMI / SCADA のあるべき姿を提示する最新版 2014

概　要

HMI/SCADA ソフトウェア市場をリードする Wonderware InTouch が、生産現場に変革をもたらすべく、他社に先駆けて HMI/SCADA のあるべき姿を提示します。現場の適確な把握のために監視画面アプリケーションが提供するべきは、決してキレイなだけのグラフィックではありません。最新版 2014 で新たに装備された「状況認識グラフィック ライブラリー」と関連機能を利用することで、最新の画面デザインの推奨ガイドラインに沿った監視画面アプリケーションを、すばやく構築することができます。

今、HMI / SCADA は新たなステージへ

コンピューター技術の進化に比例して、InTouch をはじめとする監視制御用ソフトウェアでは高度な視覚表現が可能になりました。しかし、逆にそれが適確な情報認知やパフォーマンスを低下させていることや、画面デザインの統一ガイドラインがないことが視認性やアプリケーション資産の標準化を妨げていることが指摘されてきました。

近年、特にプロセス業界内ではより高い生産性や安全性の向上を目的として、監視画面の本来備えるべき機能を重視した、より実用的で本当の意味での「高度な」画面設計を模索する動きが活発になってきており、各種国際標準規格／ガイドラインとしてまとめられています※。そのような、いわば HMI デザインのパラダイムシフトに対する Wonderware の答えが、InTouch / System Platform の最新版 2014 です。

【 これまでの監視画面デザインの課題 】

- カラフルな絵は描けるが、それに埋もれて本当に重要な情報がわかりにくい
- アラーム情報管理のガイドラインがないため、本当に重大なアラームが見落とされがち（アラーム洪水(Alarm Flood)の弊害）
- 画面ごとにフォントスタイルや色使いなどがバラバラで統一感がない
- グラフィックに凝りすぎて、時には描画パフォーマンスに悪影響を及ぼす

これまでの監視画面デザインの例

【最新版 2014 で実現する先進の監視画面】

- 視認性優先の画面開発にそのまま利用できる「状況認識（Situational Awareness） グラフィック ライブラリー」を標準装備
- 業界ガイドラインに沿ったアラーム管理・表示機能を提供
- アプリケーション全体の表示テーマを管理する「エレメント スタイル」機能
- 独自部品の標準化を進める「シンボル ウィザード」機能

すばやく適確な状況認識を可能にする、これからの監視画面の例

※ASM Consortium, “ASM Consortium Guidelines Effective Operator Display Design 2008“
EEMUA, “EEMUA 191 Alarm systems a guide to design”
ISA, “ANSI/ISA-18.02 Management of alarm systems for process industries”　など

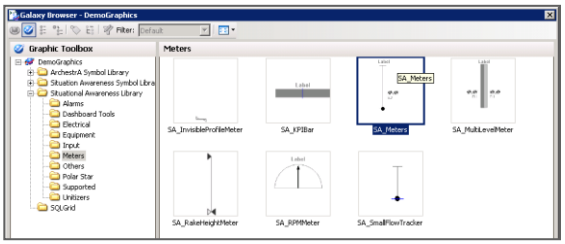
InTouch / System Platform 2014 の新機能

InTouch / System Platform 2014 は、優れた操作性と高い生産性の実現を支援する高度な HMI/SCADA アプリケーションを開発するための多くの新機能を提供しています。

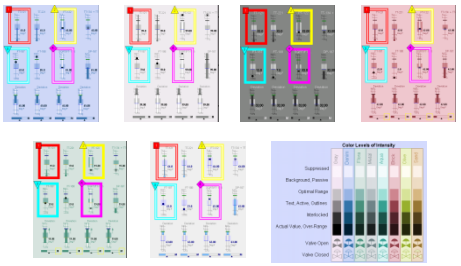
それらを利用して監視画面を開発することで、推奨ガイドラインに基づいた最新の監視画面アプリケーションを効率的に実現することができます。

◆ すぐに使える「状況認識（Situational Awareness）グラフィック ライブラリー」を標準装備

- ポンプ、バルブ、ブロワー、計器、スイッチなど

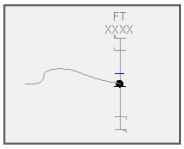


◆ 画面の表示スタイルを統一して視認性を向上させる「エレメント スタイル」機能



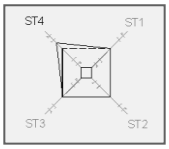
画面の表示スタイルを選択

◆ 新規アニメーションを追加

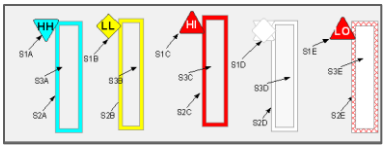


トレンド ペン

スイープ角度



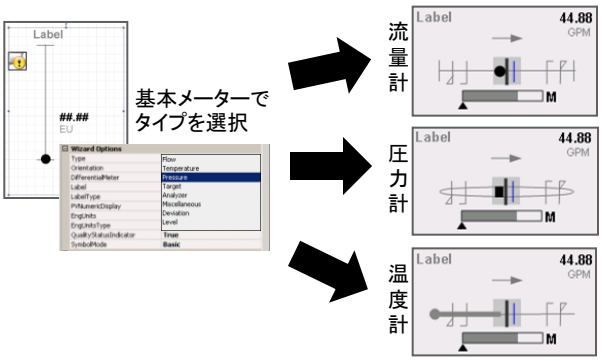
ポイント



アラーム境界

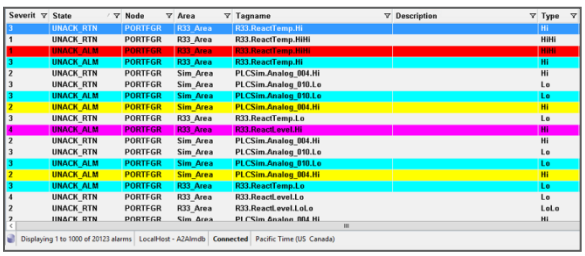
◆ グラフィック部品の管理効率と描画パフォーマンスを高める「シンボル ウィザード」機能

- バーグラフやメーターなどの標準ウィザード
- ユーザーが作成した部品のウィザード化も可能



◆ 業界ガイドラインに沿ったアラーム管理と表示機能

- 重要度ベースのアラーム管理（Application Server）
- 新規のアラーム表示コントロール



【 その他の新機能例 】

- Microsoft Windows 8、Microsoft Windows Server 2012 のサポート
- スクリプト記述時のオートコンプリート機能、try-catch 構文のサポート（ArchestrA IDE）
- Alarm DB Logger を経由しないアラーム履歴保存（Application Server）
- クラウドを利用したHistorian Online 版（Historian Enterprise Edition）

•Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
•Wonderware は、Schneider Electric SA およびその関連会社の商標です。その他の社名または製品名は、各社の商標である場合があります。
•その他、このカタログに記載された会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせはこちら

Canon
キヤノン IT ソリューションズ株式会社

<プロダクトソリューション事業本部>
（東京）〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11
TEL: 03-6701-3450 FAX: 03-6701-3498
（大阪）〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀2-2-4
TEL: 06-7635-3060 FAX: 06-7635-3028
E-mail: info-sw-sales@canon-its.co.jp
Web: http://www.canon-its.co.jp/wonder/

2015年2月現在